

海水起源マンガングラストの成長構造, 鉱物化学組成の微細層序学的検討 Microstratigraphy of hydrogenetic ferromanganese crusts in the Takuyo-Daisan and -Daigo seamounts

*臼井 朗¹、長岡 杏奈²、川村 美智子¹

*Akira Usui¹, An-na Nagaoka², Michiko Kawamura¹

1. 高知大学海洋コア総合研究センター、2. 高知大学大学院理学専攻地球科学分野

1. Marine Core Research Center, Kochi University, 2. Graduate School of Science, Kochi University

北西太平洋, 拓洋第3海山および拓洋第5海山の基底～山頂斜面において, ROV「かいこう」で採取したマンガングラストに基づき, 色調, 構造, 微細構造, 鉱物・元素の組成から微細層序を組み立てた。基盤岩から表層まで連続的なサンプルのみを選定して微細成長構造タイプを確立し, その積層パターンを記載することが目標である。本試料は若い方から, 1) 黒褐色層, 2) 空隙を伴う黒色層, 3) 緻密な黒色層の3つに分帯できたが, 肉眼観察による層序区分は不十分であった。むしろ, 碎屑物や粘土の含有量と層区分に対応関係が認められる。層1)には粗粒の鉱物粒子は見られず, 細粒の石英などが微細構造の間隙を充填している。層1)は鮮新世に生成したと推定され, 砂質有孔虫らしい微化石を囲むように細粒の鉱物粒子が集合しており, 層2)の下限は7–11Maである。これらの積層パターンの一部は海山間あるいは斜面全体に対比できるものもあり, 広域的環境変化および局地的変化の双方を記録しているのではないかと考える

キーワード：マンガングラスト、微細層序、海山

Keywords: ferromanganese crust, microstratigraphy, seamount